

I、設計条件

この課題は、ある演劇の盛んな地方都市の市街地において「ものづくり体験施設」を計画するものである。この施設は、幅広い年齢層の地域住民に対し、演劇の舞台づくり体験を通して、創作・芸術・文化的交流を図るものとする。計画に当たっては特に次のことが求められている。

- ① 遠方からの利用者のために宿泊機能を持たせるものとする。
- ② ものづくり体験部門、共用・管理部門・宿泊部門を適切にゾーニングすると共に、各部門の動線に配慮した計画とする。
- ③ 屋外との五感的つながりを持ち、室内的用途にも対応できる作業場(屋外作業場)を設ける。
- ④ 公園等の敷地周辺の環境に配慮した計画とすると共に、にぎわいのある地域に開かれた施設を計画する。

1、敷地及び周辺条件

(1)敷地の形状、接道条件、周辺状況等は下図の通りである。

- ① 東側一図書館がある。
- ② 西側一商業施設がある。
- ③ 北側一遊歩道(幅員3m)をはさんで公園がある。
- ④ 南側一道路(幅員12m)をはさんで商店街がある。

(2)敷地は道路及び隣地との高低差はないものとする。又歩道の切り開きは1箇所当たり6mまで出来るものとする。

(3)敷地の造成は最小限にとどめるものとする。

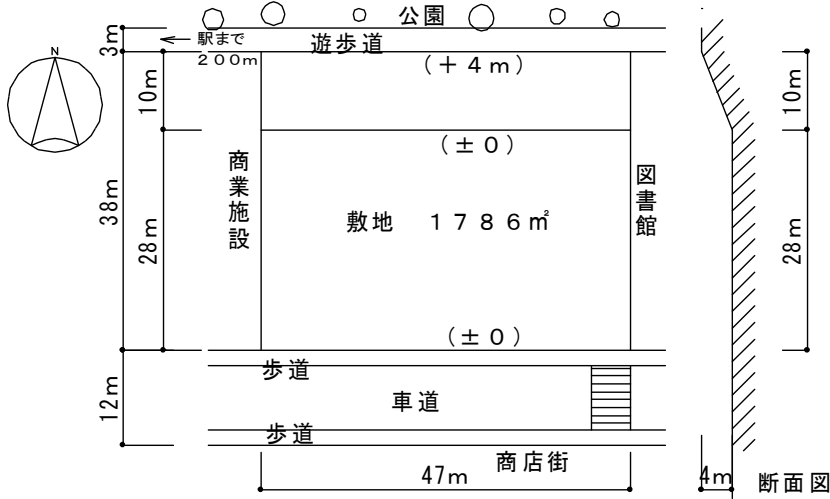
(4)敷地は、商業地域で防火地域に指定されている。又、建蔽率の限度は90%、容積率の限度は400%である。尚、日影については特別な配慮はしなくてよい。

(5)電気・ガス及び上下水道は、完備している。

(6)地盤は良好であり、くい打ちの必要はない。

(7)地下水についての特別な配慮はしなくてよい。

(8)気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2、建築物

(1)ラーメン構造による鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造としてもよい)、地上3階建ての一棟の建築物とする。

(2)床面積の合計は2000㎡以上、2400㎡以下とする。

この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラス等は床面積に算入しないものとする。

(3)主要な階段及びスロープについては、次の通りとする。

- ① 階段は巾を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上とする。
- ② スロープは、巾を1.5m以上、勾配を1/12以下とする。

(4)設備については次の通りとする。

- ① 空気調和設備は単一ダクト方式と個別方式とを併用する。
- ② エレベーター(機械室が不要なもの)は次の通り設ける。
利用者用一乗用一基(ロープ式・13人乗り、かごの床面積は2.09㎡以上)
サービス用一乗用一基(ロープ式・13人乗り、かごの床面積は2.09㎡以上)

3、その他施設等

(1)イベント広場(常時市民に開放された広場)を次の通り計画する。

- ① 地上に設けるものとし、まとまったスペースで200㎡以上(ピロティ、上部に屋根、ひさし等ある部分は算入しない。)とする。
- ② 仮設野外ステージ(W8m×D4m×H1m)が設置できるスペースを設ける。
- ③ 道路から直接アプローチできる。
- ④ 直径11mの円が入るスペースとする。

(2)屋外作業場

- ① 外気に接し、上部に屋根又は庇を設けるかピロティ状とし150㎡以上とする。
- ② ものづくり体験部門のものづくり工房に直接出入りできる。
- ③ イベント広場との関係に配慮する。
- ④ 遊歩道へアプローチできるものとする。

(3)バーベキューテラス

- ① 屋外に設け、まとまったスペースで100㎡程度とする。
- ② 宿泊部門からアプローチできる。

(4)駐車場は地上に設け、利用者用として2台(内1台は車椅子利用者用とする。)、サービス用として2台設ける。

尚、車椅子利用者用の駐車場は、巾を3.5m以上とし、主要な出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。

(5)駐輪場は、利用者用として16台分設ける(1台当たり0.5m×2m程度)

(6)ごみ置き場(6㎡)を設ける。

(7)敷地内の通路に設けるスロープは、巾を1.5m以上、勾配を1/15以下とする。

(8)(1)~(7)の「その他の施設等」は床面積には算入しないものとする。

4、所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
ものづくり体験部門	ものづくり工房	約 160 ㎡	道具制作コーナー・経師コーナー・美術コーナーを設ける。 ・屋外作業場に直接アプローチできる。 ・物品の搬出入に配慮する。 ・多目的ホールを見下ろすことができる。
	研修室(1)	約 80 ㎡	
	研修室(2)	約 80 ㎡	
	休憩コーナー	適宜	自動販売機コーナーを設ける。
	更衣室	適宜	男女別に設ける。
	情報ラウンジ	約 60 ㎡	
宿泊部門	舞台美術資料室	約 120 ㎡	地域住民にも利用しやすい計画とする。
	宿泊室	約 365 ㎡	・洋室(2人部屋、役25㎡/1室)を9部屋及び和室(4人部屋、約35㎡/1室)を4部屋設ける。 ・トイレ・洗面・浴室付とする。
	リネン庫	適宜	
共用・管理部門	ホール	適宜	流しコーナーを設ける
	カフェ	約 100 ㎡	・厨房及び便所(従業員用)を設ける ・イベント広場から直接アプローチする。
	エントランスホール	適宜	・風除室を設ける
	多目的ホール	約 200 ㎡	・外部から直接アプローチする。 ・天井高6m以上とする。 ・イベント広場と一体的に利用できるものとする。
	事務室	約 50 ㎡	・エントランスホールに隣接する。 ・受付を設ける。
	電気機械室	約 80 ㎡	
	職員更衣室	適宜	・男女別に設ける
	倉庫	適宜	
	便所	適宜	・各階に設ける ・車椅子利用者に配慮した多機能な便所を設ける

(注) 上記の床面積の合計は約1295㎡となる。

II、要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい)に、黒鉛筆で記入する。

1、要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	①建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。 ②室名などを記入する。 ③ダクトスペース、パイプシャフトの位置を明示しそれぞれ DS、PS と記入する。 ④1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ、断面図の切断位置 ロ、建築物の出入口 ハ、駐車場(台数及び出入口を明示する) ニ、駐輪場(台数を明示する) ホ、ごみ置き場 ヘ、通路、植栽など ト、GLから高さ(敷地図に示してあるレベル±0をGLとする)記入例(GL+100)
(2)2階平面図 1/200	⑤エントランスホール、カフェ、舞台美術資料室、情報ラウンジ、電気機械室、ものづくり工房、研修室(1)、研修室(2)、事務室、多目的ホールの床面積を記入する。 ⑥宿泊室については次のものを図示する。 イ、代表的な洋室1室の室内プラン及びその床面積 ロ、代表的な和室1室の室内プラン及びその床面積 ハ、各宿泊室の洋室の表示(R1~R9)及び、和室の表示(J1~J4)
(3)3階平面図 1/200	⑦イベント広場には面積を記入し、仮設野外ステージ部を点線で図示する。 ⑧屋外作業場には面積を記入する。 ⑨バーベキューテラスには面積を記入し、植栽、テーブル、いすその他を図示する。 ⑩直下階の屋根、庇等の部分を図示する。 ⑪吹き抜けとなる部分を図示する
(4)断面図 1/200	①切断位置は、多目的ホールを含み、建築物の全体の立体構成(1~3階)及び屋根形状が分かる断面とする。尚、水平方向、鉛直方向の省略は行わない。 ②塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③周囲の地盤面を点線で図示する ④はり及びスラブの断面を図示する。尚、基礎については図示しなくてよい。

2、面積表

1~3階の床面積及びその合計を記入する。尚、各階の床面積についてはその算定式も記入する。